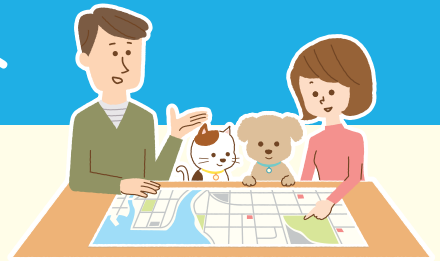
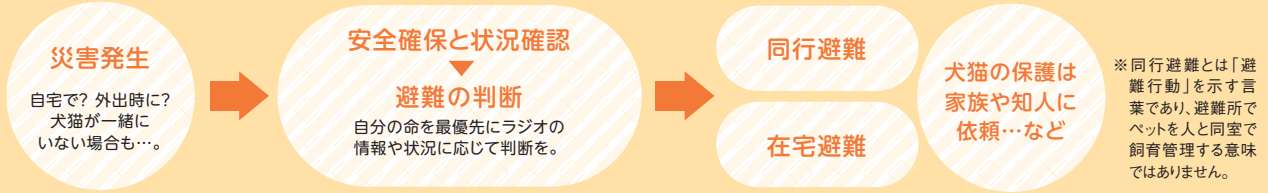


我が家の避難シミュレーションシート



災害発生時に犬猫も含めた大切な家族と助かるためには、自分の住む地域のリスクなどを踏まえて避難方法を想定しておくかと安心です。まずは、おうちで犬猫と一緒に被災した場合にどうするか、このシートに記入しながら考えてみましょう。

簡単な同行避難^{*}の流れ



●災害発生時と直後の備え●

おうちの中で安全な場所はどこでしょう。

記入例／机の下、階段のそば

まずは飼い主さん自身の安全確保を。家具が倒れて来ない位置やガラスから遠いことも大切です。落ち着いたら出口は開けておきましょう。

ここもチェック

- ガスなどの火元
- 電気ブレーカーの位置

うちの子が安心できる場所や隠れそうな場所はどこでしょう。

記入例／ベッドの下、飼い主さんの側

万が一の時には、普段から隠れる場所に逃げる場合も。日頃からケージで過ごしていると逃走の心配も軽減します。

うちの子をすぐに捕まえられますか？

記入例／首輪をつかむ、おやつで呼ぶ

慌てた犬猫が屋外に逃げないように確保する準備を。「網で捕まえる」というご意見もあります。

うちの子が落ち着く方法は？

記入例／なでる、犬猫自身のおいが付いた毛布を使う

怯えてパニックになると逃げ出したり、思わぬ事故につながることも。

●安全確保のためにどこへ逃げたらいいのかな？●

家の周りに海や川、山はありますか？

当てはまる項目に✓をつけてください。

- 海や川がある → 津波や洪水の危険は？
- 山がある → 土砂崩れの危険は？
- その他の危険はありませんか？

家の周りの地形を知って、安全な場所へ避難しましょう。地域のハザードマップもご確認を。

犬猫も避難できる公共の避難場所はどこでしょう。

マンションや地域のルールはどうなっていますか？

お住まいの自治体やマンションの管理組合に問い合わせましょう。

●犬猫と逃げる時の備え●



避難時はどのように犬猫を移動させますか？

記入例／キャリーに入れる、ガレキ対策として靴を履かせる

うちの子に合った方法でよいですが、キャリーに入れると
逃走の心配をせずに移動できます。

安全な避難ルートは？

地図で確認して書いてみましょう。

避難時は門や塀には近寄らず、落下物にも気を付けましょう。

避難時に気を付けたいこと

- 火を使わない
- 電気スイッチを入れない
- エレベーターは使わない
- 裸足で歩かない
(ガラスでケガをする危険があります)
- ブレーカーを通电させない

持ち出し袋や備蓄品など
準備しておきたい
グッズについては
QRコードをクリック▶



●避難生活の備え●

犬猫は避難場所でどのように過ごせれば安心でしょうか。 記入例／マナーパンツやマナーベルトをつける、ケージに入れる

●在宅避難の場合

●避難所で過ごす場合

●他の場所で過ごす場合

家族との集合場所や連絡手段はどうしますか？

記入例／電話会社の伝言掲示板を使う

うちの子が迷子になった時の対策は？

できている項目に✓をつけてください。

- 首輪と迷子札を着用
- 鑑札や狂犬病予防注射済票を着用
- マイクロチップを装着
- うちの子の写真や情報をまとめている

ワンポイント

迷子札などで所有者を明示していると
発見の可能性が高まります。すぐに見
つからない場合は自治体や動物救護
本部へ問い合わせを。避難生活が落ち
着いたら捜索チラシを作成しましょう。

ケガや体調不良の際、頼れる動物病院の連絡先は？

常備薬を持ち出し袋に入れておくことも大切です。

